

不適切なサービス管理

対象受検機関	検出事項	是正を求める事項	措置の内容				
鳳高等学校	<p>30日以上病気休暇を取得した職員の復業に当たっては、安全衛生管理者である所属長は総括安全衛生管理者である教育次長に対し、大阪府立学校職員安全衛生管理規程第31条に基づく病者の報告等を行わなければならないが、報告がなされていないものが1件あった。</p> <table border="1" data-bbox="498 611 1329 810"> <thead> <tr> <th data-bbox="498 611 602 659">職員</th> <th data-bbox="602 611 1329 659">診断書における休業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="498 659 602 810">A</td> <td data-bbox="602 659 1329 810">令和2年7月30日から同年8月31日まで (33日間)</td> </tr> </tbody> </table>	職員	診断書における休業期間	A	令和2年7月30日から同年8月31日まで (33日間)	<p>検出事項について、今後は、大阪府立学校職員安全衛生管理規程に基づき、適正な事務処理を行なわれたい。</p> <p>【大阪府立学校職員安全衛生管理規程】 (病者の報告等)</p> <p>第31条 安全衛生管理者は、次の各号のいずれかに該当する職員が、療養に専念しないために就業を禁止する必要があると認めるときは、病者報告書（様式第4号）に医師の診断書を添付し、総括安全衛生管理者に報告しなければならない。疾病等により30日以上休業又は休職していた職員が復業又は復職するときも、同様とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 病毒伝ばのおそれのある伝染性の疾病にかかった職員 二 精神障害のため、勤務させることにより、病勢が著しく増悪するおそれのある職員 三 心臓、腎臓、肺等の疾病で勤務のため病勢が著しく増悪するおそれのあるものにかかった職員 	<p>未提出となっていた病者報告書については、監査受検後、総括安全衛生管理者あて提出した。</p> <p>今後は、大阪府立学校職員安全衛生管理規程に基づき、適正な事務処理を行う。</p>
職員	診断書における休業期間						
A	令和2年7月30日から同年8月31日まで (33日間)						

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和3年11月1日から令和4年1月31日まで）